

事務事業名	芳賀地区広域行政事務組合分担金事業（総務関係）				担当	総務部 総務課 総務文書係			
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施策名			
施策名	3	広域行政・地域連携の充実				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画						事業期間	☐ 単年度のみ		
法令根拠	地方自治法、芳賀地区広域行政事務組合規約						☒ 単年度繰返（開始年度 昭和46 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	1. 一般管理費	☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）				
事業概要	1 つの地方公共団体で処理の困難な広域的事務を協力・共同処理するために、昭和46年に芳賀地区広域行政事務組合が設立された。構成市町の芳賀郡市1市4町（真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町）が連携し、費用を分担することで、真岡市を含む芳賀地域の発展及び行政サービスの広域的対応を図っている。共同処理しているものの内、議会総務、市町職員研修、市町職員採用試験に係る事務について、分担金を支出している。								

1. 現状把握の部 （1）事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 分担金の支出 31年度計画 前年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(見込)
	ア 分担金の額	千円	50,082	68,209	60,169	57988	65328
	イ						
	ウ						
	エ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 共同処理の事務数	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(見込)
	ア 共同処理している事務数	個	3	3	3	3	4
	イ						
	ウ						
	エ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 分担金を支出することにより、事務を共同処理する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(見込)
	ア 効率的な行財政運営がされている割合	%	100	100	100		
	イ						
	ウ						
	エ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 効率的な行財政運営	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(見込)
	ア 円滑な共同処理事務の割合	%	100	100	100	100	100
	イ						
	ウ						
	エ						

(2) 総事業費の推移		単位	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	50,082	68,209	60,169	57,988
	事業費計（A）		千円	50,082	68,209	60,169	57,988
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	2	2	2	2
		人件費計（B）	千円	8	8	8	8
	トータルコスト(A)+(B)		千円	50,090	68,217	60,177	57,996

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。	昭和46年にし尿処理、消防、斎場等の事務を芳賀郡市1市5町で共同処理することを目的に設立された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	設立当時は1市5町であったが、平成21年3月23日に二宮町が真岡市と合併し、現在の構成市町は1市4町（真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町）となっている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	